



12月定例議会での施策方針を述べる飯島市長

経済危機を乗り越えよ！

、切れ目なく対応し

市民生活を守るために、

世界的な景気後退の波が本市にも影響を及ぼしていますが、市政の最重要課題は、『この経済危機をいかにして乗り越えていくか』ということです。

本市では、経済危機対策のため、国の政策と連携を図りながら本年7月、9月、12月に補正予算を組み、地域活性化・経済対策および雇用対策を講じています。

地域活性化・経済対策については、主に、①安全・安心の実現 ②地球温暖化対策 ③少子高齢化社会への対応 ④その他将来に向けた事業―この4本の柱を掲げ、活力あるつくばみらい市を目指し、市民生活を守るために、切れ目なく対応してまいります。

地域活性化・経済対策

政府の「経済危機対策」を受け、国の平成21年度補正予算において創設された「地域活性化・経済危機対策臨時交付金」などを活用し、安全・安心の実現、地球温暖化対策、少子高齢化社会への対応、その他将来に向けたきめ細やかな事業を行っています。

安全・安心の実現

● 新型インフルエンザ対策事業
(1650万円)

小・中学生および妊婦へのマスク等を備蓄し、新型インフルエンザの感染予防・感染の拡大防止を図ります。

● 住宅用火災警報器設置事業
(390万円)

一人暮らしのお年寄りや生活保護者へ無償で設置し、人的被害の未然防止を図ります。

● 防災拠点への地デジ対応テレビ設置事業 (1140万円)

市内の避難所兼避難場所へ地上デジタル放送対応テレビを設置し、防災・地域情報の充実に



総合運動公園のテニスコート